

県内で撮影されたアカモズ
(県提供、長野アカモズ保全
研究グループ原星一氏撮影)



県環境審議会は17日、中南信地域の果樹園で繁殖する絶滅危惧種（IB類）のアカモズを県希少野生動植物に指定する答申案を決定した。今後は、保護活動の指針となる「保護回復事業計画」を来年度中に策定し、国や関係保護団体などと連携して保護や新たな生

中南信地域で繁殖 アカモズ

県希少野生動植物に

県環境審 指定答申案を決定

息地の把握に取り組む方針。

渡り鳥であるアカモズは、繁殖のために5月ごろインドネシアから渡来。明るい林やまばらに木が生えた草原を好むとされ、県内ではその環境に近い中南信地域の果樹園で生息が確認されている。主に昆虫や小動物を採食し、果実を食べることはないが、果実をつつくとの誤解から巣を落とされることがあり、繁殖地である果樹園での繁殖状況の悪化が生息数減少の一因と指摘されている。

(林駿汰)